



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

上場会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 小川 浩平
(コード番号 6993)
問合せ先責任者 総務部長 岩瀬 茂雄
(TEL 03-3448-7300)

平成 29 年 3 月期の通期連結業績予想値と実績値との差異 及び個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 10 日に公表した平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績予想数値と実績において差異が生じたのでお知らせいたします。なお、当該決算において新たに特別利益を計上しております。

また、個別業績における前年実績値との差異についても合わせてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値の差異について

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,308	383	△279	△522	△6.48
今回実績値 (B)	20,556	493	△180	△287	△3.56
増減額 (B-A)	248	110	99	235	2.92
増減率 (%)	1.2	28.7	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	20,165	1,755	969	99	1.28

(2) 差異発生 of 主な理由

経常利益

大黒屋ホールディングス株式会社及び株式会社大黒屋について、前回発表予想よりも販売費及び一般管理費の発生を低く抑えられたため、営業利益が増加しました。この結果、経常利益は前回予想値を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益

平成 29 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社大黒屋が保有不動産を譲渡したことによる固定資産売却益 289 百万円を特別利益に計上しました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想値を上回りました。

2. 通期個別業績と前期実績値の差異について

(1) 平成 29 年 3 月期通期業績と前期実績値の差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期 純利益
(平成 28 年 3 月期) 前期実績値 (A)	百万円 426	百万円 △280	百万円 △327	百万円 △336	円 銭 △4.30
(平成 29 年 3 月期) 実績値 (B)	375	△403	△668	△820	△10.18
増減額 (B-A)	△50	△122	△340	△483	△5.88
増減率 (%)	△11.8	-	-	-	-

(2) 差異発生 of 主な理由

売上高は、電機事業の防爆照明器具が減収となりました。

営業利益は、売上高の減少、旅費交通費及びシステム開発費用等の増加により減益となりました。

経常利益は、受取利息の減少及び支払利息の増加により減益となりました。

当期純利益は、子会社向け貸倒引当金繰入額の増加により減益となりました。

以上